

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごと、誰に相談したらいいか、どこに相談したらいいか、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ

健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

友の会だより

中野共立友の会・広報委員会発行 〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール: a_nozawa@kenyu-kai.or.jp Tel:03-3386-9139

八月 平和を願う

そうぞらし言葉

八月六日に想うこと

広島に一発の原子爆弾が落とされたとき 現地の人は 「目の前に太陽が落ちたと思った」と 書きのこしています 一瞬に十数万の市民が殺されました

その原爆を落としたアメリカの爆撃機B29 エノラ・ゲイ号の機長ポール・テイベッツ はその後 謝罪の言葉のひとつも発しませんでした その彼が晩年(2007年92才没) 語っています 「戦争に道徳なんてない 国際紛争解決の手段としての 戦争をなくす道を探すべきだ 十字架を背負った老兵の警鐘だ」と

私の戦争体験

いのち 生命からがら引揚げて

勝又 嘉子さん (89) 東中野一丁目 (桜山健康友の会副会長)



私は1942年(昭和17年)結婚して、蒙古のトシモトと云う所で生活を始めました。当時蒙古

権は日本人が握っていました。夫はその政府の役人でした。 敗戦の年の8月8日何の説明もなく突然夫は現地に招集され、遠い地に1才の娘と2人で残されました。8月15日同じ立場の10世帯が集まってラジ

(い)

のオムツと毛糸の服と米を持ち、子どもをおぶつて駆けつけると、そのまま軍のトラックに乗せられ何ヶ月も続く逃避行が始まりました。

せめて・・・の 願いも届かず

万里の長城を越えて北京に着くまでの記憶が抜け落ちていきます。歩いたり、貨車に乗ったり、トラックにしがみついたりしたことで、食べ物



バザーの収益は82,548円にも

バザー 募金 千羽鶴

原水爆禁止世界大会・広島へ 代表団を送るカンパ活動

ご協力 ありがとうございます



団長の伊藤浩一所長に友の会からカンパと千羽鶴を手渡しました

Tシャツで平和をアピール



見送りの人もTシャツ姿で病院玄関前に

友の会の榎本博会長(72歳)や佐藤美智子さん(71歳)が自転車で走ったことに職員は感動しました。みんな一緒に汗をかき、打ち上げはビールで乾杯。平和談義と街の反応に話の花が咲き次回に期待を寄せました。

1周5キロを3周、2周、1周し、徒歩組は、皇居東御苑など2キロを歩きました。皇居をマラソンしている人達から「今日は平和が多いな!」などと注目を集め、街行く人々に平和をアピールしました。



皇居前の和田倉噴水公園で平和隊集合

ジャパンブルーで 皇居を一周しよう

共立病院の山本英司副院長と山田政志リハビリ室長の呼びかけで健友会YUSHIが参加した平和行動。7月24日(土)、35度の炎天下、

背中が大きく「平和」を白抜きしたブルーのオリジナルTシャツを着て、健友会職員、友の会職員15人が自転車、徒歩に分かれて皇居を周回しました。自転車組は、中野から皇居まで片道12キロを往復、体力に依りて、



水沼駅温泉でリフレッシュ

(青山豊次さん・画)

足尾鉍毒事件を学ぶ旅

8月3日 総勢38人



田辺 良家さん (埼玉県川口市)

明治時代の中ごろ、足尾銅山の鉍毒によって発生した公害事件。田中正造という政治家が、これを国会で追求し、命がけで明治天皇に直訴。鉍毒事件解決のため、生涯を捧げました。

今回、「足尾鉍毒事件を学ぶ旅」を共立友の会会報で知り、一度行ってみたいと思いをいたしました。佐野郷土博物館見学の後、足尾町にて、「足尾の環境と歴史を考える会」の石川さんと藤井さんから松木村跡と鉍毒事件のお話を伺い、国土交通省の許可がないと入れない現地まで



何百年たっても緑が戻らない山・カラムの山を背景に

案内していただきました。製錬所から出る亜硫酸ガスで、山々の木々、草木が枯死し、一本一草もなくなくなったこと。農民が農地をすて、移住しなくては生きていけ

なくなりました。溶鉱炉から出るカラム(緩銅のカス)で出来た大きな山。現在、山々は植林、植草運動が進められている最中で、公害元の企業古河がすべきことを税金やボランティアで行なっているとのことでした。

お話の中から、労働運動の発祥の地、じん肺の労災認定の闘いがあったこと、中国人・朝鮮人の強制連行の事実があったことを知りました。数冊の資料書を買求め、少し足尾銅山、公害の問題について勉強してみようと思いました。

医局旅行で御巣鷹へ



山本 英司 (副院長)

1985年 8月12日

みなさんは1985年8月12日と聞いて、何を思い出しますか。日本航空123便といえば、多くの方が思いだすかもしれません。乗員・乗客524人を乗せて羽田を飛び立ち、

伊丹空港に向かったジャンボジェット機が、群馬県上野村、御巣鷹の尾根に墜落した日なのです。

この事故で、総勢520人の尊い命が失われました。原因は、過去にこの飛行機が尻もち事故を起こしたこととあり、修理不十分による圧力隔壁の損傷と



今回、6月12〜13日に、中野共立病院医局旅行で御巣鷹の尾根に慰霊に行ってきました。医師(国立国際医療センター・医師も含む)・看護師・事務職を含め総勢20人の参加でした。今年になり、経営問題や映画「沈まぬ太陽」等、日本航空が今までされてきた事もあり、事故を忘れないようにするために良い企画だったと思います。



御巣鷹の尾根に向かって合掌の形をした慰霊塔

市までヘリコプターで搬送した事、御遺体の損傷が激しく個人の特定期に難渋を極めた事等お話を伺いました。この事故にはのべ17万人が関わったとの事です。翌日には御巣鷹の尾根に慰霊登山に行きました。慰霊者のために道路が整備されたように、往復約1時間30分でした。墜落現場の山の斜面に、何百という卒塔婆が立ててあり、家族や若年者の名前が多いのには驚きました。ふもとにある「慰霊塔」は、両手を合わせたようなデザインで、慰霊登山が出来ない高齢者でも、

私たちの仲間

裏わが本拠地

「法人本部」と言われても、ピンとこないという方が沢山おいてだと思えます。「病院」や「診療所」であれば、パツと頭に浮かぶのでは。そんな皆さんのイメージから、もっとも遠いところで仕事をさせていただいている、

健友会 法人本部

総務部長 鈴木 博徳

いわば裏方の本拠地が私たちの職場ということになります。



中央が専務・ヒゲの鈴木部長とみなさん

具体的には、理事長、専務を筆頭として健友会全体の医療活動・介護活動・看護活動の責任者たる部長たち、経理・総務を担当する職員、友の会のみなさんと最も身近な組織部で構成されています。もちろん、常に現場で対応をしている医師や看護師・介護士などの職員が実際の医療・介護を担っており、部長たちはその活動が円滑に進むために責任を持っている訳です。とは言っても、看護体制が厳しき折、看護部長は現場を支えるス



友の会コーナーの組織部

タッフとしても、あちらこちらに出回っています。経理部も同様に、健友会が道を踏み外さない?!ために正確な収支の状況を把握し、皆さんからお預かりしている協力基金の管理を行っています。ご協力本当にありがとうございます。総務部では、職

員の人事管理と給与支給実務や、各種手続きを行っています。健友会では非常勤を含め500人ほどの職員が働いています。ちなみに、「医療」ぐらい多種類の国家資格を持った専門職が一同に会して働いている業種は他にありません。「医療の管理・運営が円滑に行えれば、どの業務に行っても管理職が務まる」と、顧問の公認会計士におだてられたり、慰められたりしながら、日々いろいろな出来事と鬼ごっこをしています。



上野スカイブリッジで記念撮影

初日には、山のふもとにある「慰霊の園」を訪ねて、事故当時の役員職員で地元の消防団員だった施設長に話を聞くことができました。雷が落ちたかと思

うほどの衝撃音の事、墜落現場の御遺体を野獣に損傷されないように、夜通し自衛隊隊員が山の斜面にへばりついていたので、精神異常を起こして搬送された事や、上野村には御遺体を安置する場所が確保できないため藤岡

想像を絶する大惨事。中野共立診療所伊藤所長の奥様が、事故当時大学の法医学教室の手伝いで、御巣鷹の尾根や藤岡市の体育館での検視に行っていたことや、わたしが東京健生病院時代、事故現場の生存者を救助したヘリコプター乗員の主治医だった等、関連する話が出てきました。参加者一同、この事故を風化させず、医療の現場においても安全確保に務めなければならぬと再確認しました。